

ユニオンファンド 月次レポート

第145号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年12月4日作成

MONTHLY TOPIC

株式投資の本来の姿 ②

株式投資を敬遠する理由として、それが利益を生む（儲かる）からだという人も一定数いるのですが、やはり圧倒的多数派は損するのが嫌だからでしょう。同じ有価証券でも、債券には一般的に償還があり、満期には額面金額が全て返ってきます。このため満期が近づくにつれて取引価格は額面に近づきます。しかし株式に満期はなく、最終的な価格もわかりませんから価格変動も大きくなりがちで、つまりは損もしやすいわけです。

「企業に投資する」≒「長期投資」

株価変動を利用して利益を上げるのはなかなか難しく、損をする人は少なからずいます。ただ、株価は変動するだけではなく、これまで全体としては上昇してきました。それは企業の成長に伴う自然な姿だと言えます。

製品やサービスがより多くの人に購入してもらえらるなら、売上や利益は増えていくのが普通です。利益が増えれば企業が株主に支払う配当金も増えていくでしょう。企業の利益が2倍になって配当金も2倍に増えれば、株価が2倍に上がっても不思議ではありません。社会に対して良い行いを広げ、売上も利益も伸びている企業は、投資利益の増大という形で結果的に投資家により高いリターンをもたらすと考えることができます。

企業の成長には時間がかかるので、株式投資で利益を得るのに時間がかかるのはある意味当然です。「長期投資とは何年から言うのか?」というご質問をいただくことがあります。決まりはありません。あくまで私見ですが、企業の成長が株価の上昇という結果につながるまでが、最低限必要な長期投資の時間だと考えています。

ユニオンファンドの投資

企業の長期的成長こそが株価上昇の源泉という以上の考え方に立つとき、重要になるのはどういう企業に投資するかです。ユニオンファンドが投資しているファンドを運用する5社は、より良い企業を選ぶことと、その企業の長期的な成長可能性の確認に、常に全力を傾けています。株価は短期的に市場参加者の気持ち次第で大きく動きますが、企業の長期的な成長は、ごく自然なこととして株価上昇という形で最終的に実を結ぶものと確信しています。今後もこうした考え方でユニオンファンドの運用を続け、皆様とともに歩んでいきたいと願っています。

久保田徹郎

『ユニオンファンド報告会』のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大で中断しておりましたお客様向けの報告会を、オンライン（Zoom）で開催することになりました。ユニオンファンドのことをより深く知っていただく機会にしたいと思っています。

詳細は最終ページ（P9）に掲載しておりますのでご覧いただき、ふるってご参加ください。お待ちしております。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年11月末現在)

基準価額

26,746 円

純資産総額

84 億 24 百万円

期間別騰落率(%)

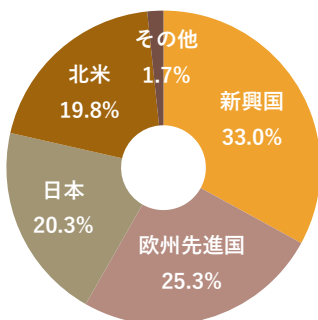
1 ヶ月	11.06%
1 年	9.34%
3 年	3.83%
5 年	25.17%
10 年	100.01%
設定来	167.46%

複利年率(%)

8.46%

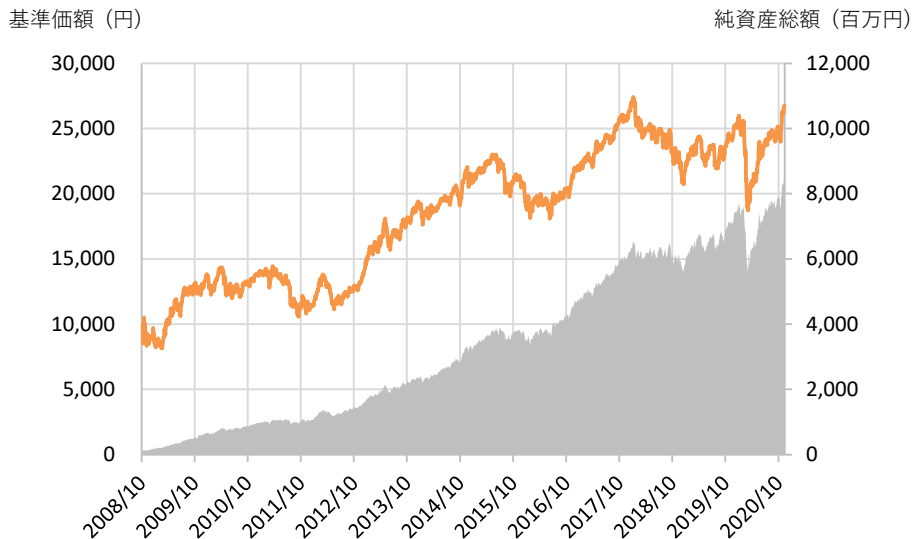
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年10月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.7%	11.7%
スパークス F	日本	11.5%	7.1%
キャピタル F	欧米	16.4%	11.2%
ハリス F	欧米	18.8%	23.9%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.6%	11.3%
コムジェスト・エマージング F	新興国	27.8%	9.6%
現金等	-	10.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年11月の市場動向と運用状況

投資環境

11月の世界の株式市場は好材料が相次いだことから大幅高となりました。米国大統領選挙が終わって不透明感が薄れたことに加え、新型コロナウイルスに対する予防効果が高いワクチンが開発されたとの相次ぐ報道を受けて、今後の景気回復への期待が膨らんだためです。バイデン次期大統領が財務長官に前FRB議長のイエレン氏を指名する考えであることが伝えられ、安心感も広がりました。市場別には、コロナ被害の再拡大で夏場からもたついていた欧州株の急伸が特に目立ちましたが、他の市場も総じて非常に好調に推移しました。

為替市場ではドルが若干軟調に推移し、欧州と新興国の通貨が堅調でした。

運用の状況

基準価額は大きく値上がりしました。中でもハリスFは欧州株と景気に敏感な業種の株価が急反発したことを受け、2割を超える大幅な値上がりとなりました。

売買は見送りました。組入ファンドの値上がりによって月末時点の組入比率は前月末を上回る89.8%に上昇しました。

今後の見通し

当面はコロナ感染被害の推移、ワクチン開発の続報や接種の開始による効果、ひいては景気と企業業績の動向が引き続き焦点と思われます。また、来年1月早々に行われる米国ジョージア州上院議員選挙の決選投票(2議席)で、民主党が半数の50議席を獲得するかどうか注目点となりそうです(現時点では民主党48対共和党50)。バイデン次期政権は新型コロナ対策を当面の最重要課題の一つに挙げていますが、歳出拡大を伴う経済対策には議会の承認が必要であり、選挙の結果次第でバイデン政権の政策実行力は大きく異なるものになりそうです。

世界の景気は、このところの感染再燃によってあちこちで一服状態にあります。ただ、ワクチンへの期待は高く、少し気の早い話ですが市場関係者の目はコロナの先に向けられつつあります。コロナと景気の状態変化を受けて今後の金融政策がどうなるかが、次第に重要となっていくでしょう。当面は超緩和策がさらに深まる可能性の方が高いですが、その後はいずれ普通の緩和に戻り、緩和縮小へと転じていくでしょう。株価の動きもかなり変わってくると思われます。

より長期の視点では、世界経済の成長率がコロナ後に趨勢的に高まるかどうかという点も気になります。今は楽観ムードで市場は満たされており、実際成長ピッチが高まっている企業や業種もあります。しかし全体として見れば、成長力がコロナ以前より高くなることは期待しにくいところです。そうだとすれば、大きく上がった株価が次第に上がりにくくなる可能性はあるでしょう。そう考えて早くも先行きへの警戒を強める投資家も多々いそうです。

とはいえ、趨勢的に世界経済が縮小していくとも思えません。今後も株価は予想外の事態に変動幅が大きくなることはあるでしょうが、上がったたり下がったりを繰り返しつつ、長期的には上昇していくとの考えは今まで通りです。このため、基本的にはこれまで同様の運用方針を維持していこうと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

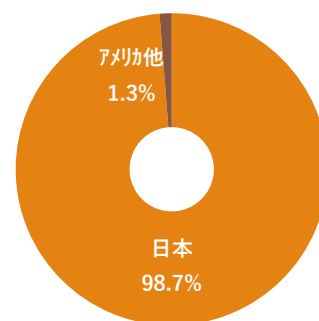
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



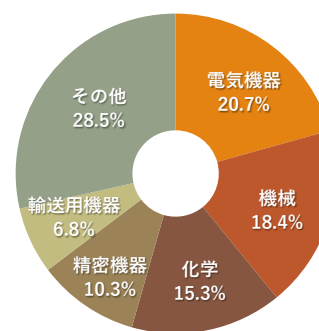
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	7.7%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.5%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.2%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	3.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
5 テルモ	3.7%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
6 花王	3.5%	日本	化学	トイレット紙首位
7 TOTO	3.5%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
8 プリヂェストン	3.1%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
9 トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 三浦工業	2.4%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	39.8%	現金等	7.3%	

業種別構成比



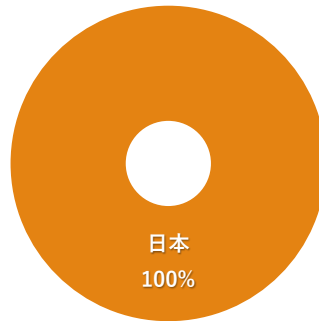
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年11月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



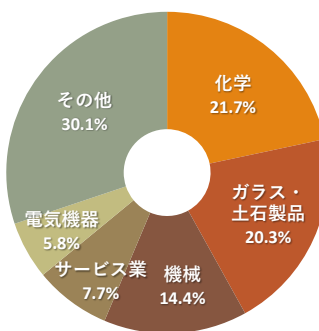
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
現金等	7.8%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年10月末現在 >

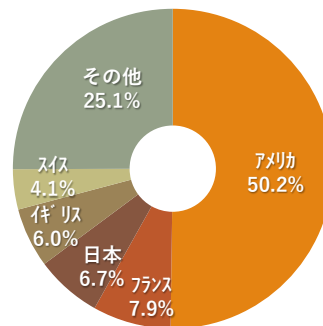
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



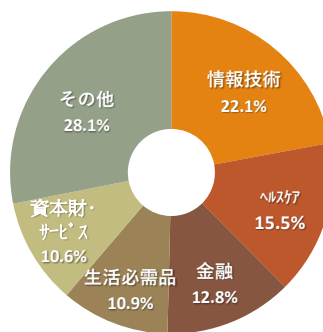
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	2.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	2.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 AIA	1.8%	香港	金融	生保・金融サービス
5 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Visa	1.7%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 Novo Nordisk	1.6%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
9 Microsoft	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
10 Seagen	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
上位10銘柄	18.3%	現金等	9.0%	

業種別構成比



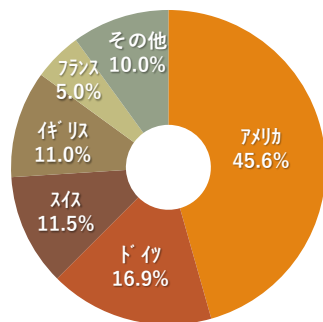
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年10月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



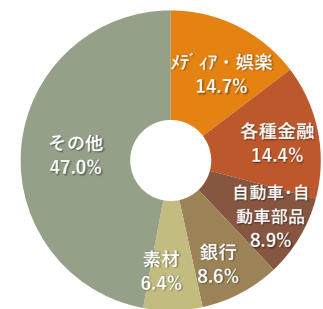
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.7%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 GLENCORE	4.9%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
3 BNP PARIBAS	4.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
4 CREDIT SUISSE	4.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 DAIMLER	4.4%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 BERKSHIRE HATHAWAY	4.2%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
7 CNH INDUSTRIAL	4.0%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
8 BAYER	3.7%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
9 ALLIANZ	3.6%	ドイツ	保険	総合保険大手
10 JULIUS BAER	3.4%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	43.5%	現金等	2.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年10月末現在>

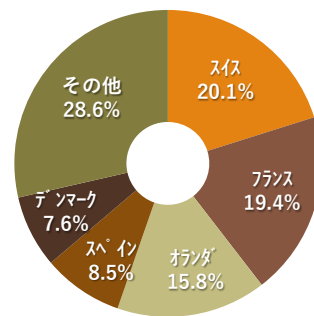
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



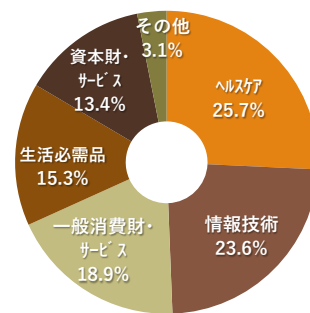
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.9%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 ASML HD	5.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 INDITEX	4.2%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
4 NOVO NORDISK	4.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 AMADEUS	4.1%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
6 HEINEKEN	3.7%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
7 LVMH	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
8 ESSLORLUXOTTICA	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
9 MTU AERO ENGINES	3.0%	ドイツ	資本財・サービス	航空機用エンジン
10 SAP	2.7%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	40.1%	現金等	2.7%	

業種別構成比(マザーファンド)



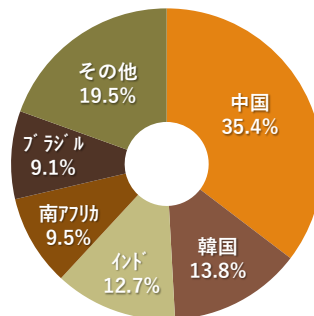
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年11月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



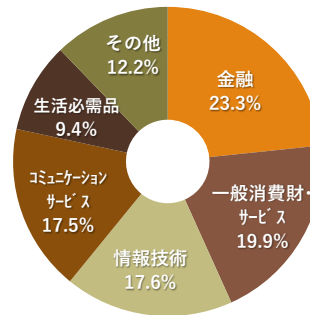
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.3%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 SAMSUNG ELECTRONICS	6.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
3 PING AN INSURANCE	5.3%	中国	金融	保険大手
4 ALIBABA	5.0%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引会社
5 NASPERS	4.8%	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア。中国TENCENTの大株主
6 NETEASE	4.5%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
7 HOUSING DEVELOP. FINANCE	4.5%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
8 SAIC MOTOR	4.0%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
9 NC SOFT	3.8%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
10 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
上位10銘柄	48.3%	現金等	1.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年11月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

■ 年末年始の営業日・営業時間等について

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

	営業日	営業時間	取引受付時間
年末	2020年12月30日まで	9:00 ~ 17:00	15:00 まで
年始	2021年1月4日から		

※ ファンドを換金（解約）されるお客様で、年内に解約代金お受取りをご希望される場合は、12月23日（水）15時までにお申し込みください。

■ 目論見書の改定について

2020年12月26日にユニオンファンドの目論見書を改定いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部までお申し出ください。）。

■ 月次レポート受取方法について

【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社 HP で直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mailをご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、“受取方法の「E-mail」への変更”に是非ご協力ください。

- ・ 月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・ レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。
- ・ 弊社HPでのレポートは、「カラー」のため、グラフ等を鮮明にご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「取引口座関連（各種変更手続き）」 > 「メールアドレス・月次レポート受取方法の変更登録」でお手続きください。

エコの観点からも印刷紙の削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしく願います。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

ユニオンファンド報告会のお知らせ

～ファンドとお客様の投資成果を振り返る～

本報告会では、この1年間の運用状況の報告に留まらず、この12年間におけるユニオンファンドの運用方針や投資先の変遷、ご利用いただいたお客様の投資内容を踏まえた『長期つみたてほったらかし投資』の考え方など、幅広くお伝えできればと考えております。

日時	① 2021年1月16日(土) 14:00～17:00 ② 2021年1月24日(日) 14:00～17:00 ※2回とも同じ内容となります。
方法	Zoomによるオンライン形式(無料)
対象	ユニオンファンドを保有されているお客様 ①②開催どちらも定員100名(お申込み順)
申込方法	弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」ページよりお申し込みください。 https://unionam.co.jp/contact/index.html (申込締切日:①開催は1月12日、②開催は1月18日) ≪弊社HP「資料請求・問い合わせ」ページからのお申込み方法≫ 1. ご依頼内容「お問い合わせ」にチェックしてください。 2. お名前、ご住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご入力ください。 3. お問い合わせ内容欄に ・「①1/16 参加申込み」または「②1/24 参加申込み」のいずれかをご入力ください。 ・「お客様コード(弊社発行の口座番号)※」をご入力ください。 ※ 弊社発行の「お客様控え」もしくは「取引報告書」の口座番号をご確認ください。
参加方法	1. お申込みいただいた方へ、後日弊社より視聴用のURLをお送りいたします。 2. 当日は、お送りするURLからログインしてください。 Zoomの使い方はこちらをご参照ください。 https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697

この報告会は、ユニオンファンドの受益者の方々を対象に、ファンドの運用内容や投資結果に関する情報の提供を目的としたものです。／金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。／金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。